

科目名 クラス 講義区分
社会学 04<秋集>
<p>【教員氏名】 宮本 孝二 研究室:聖アンデレ館 10階 1001号室 メールアドレス:</p> <p>【授業形態】 講義</p> <p>【講義・演習概要】 社会学は家族から世界社会までの多種多様な社会的な場と、そこに生じるあらゆる問題や現象を対象とする。すでに200年近い歴史を持つ社会学には、これまでの多量な知識が蓄積されており、さらには現在も日々新たな認識が生産され社会的知識として流通している。それらの大量な情報の中から、この講義ではまず社会理論と社会システムという大きな枠組みを設定し、次に社会学史に登場する多様な社会理論を社会学者と関連付けつつ順次紹介し、その後現代社会の諸相についての社会的達成点を解説し、現代社会のシステムの全体像を明らかにする。</p> <p>【学習目標】 この講義は共通教養としての社会学の基礎知識を習得していただくことを目的としているが、同時に社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士資格の取得に必要な社会学科目としても提供される。社会学は家族から国際社会に至る種々の社会生活の場、そこに生じる諸問題、多様な文化現象などを対象としており、社会学を学ぶことによって、知識と視野を広げ多角的な視点を獲得しつつ、問題解決や意味解読の力を身につけることが可能となろう。講義は、社会福祉士・精神保健福祉士資格の国家試験の社会学および介護福祉士の人間と社会に関する選択科目の出題基準に対応して進める。 社会学を学ぶことによって知識と視野を広げ多角的な視点を獲得しつつ問題解決や意味解読の力を身につけることが可能になる。</p> <p>【講義計画】 第1回:社会理論と社会システム 第2回:現代社会の理解(1)文化と規範・法 第3回:現代社会の理解(2)産業・職業・労働 第4回:現代社会の理解(3)階級と階層 第5回:現代社会の理解(4)近代化・産業化・民主化論 第6回:現代社会の理解(5)人口構造と人口変動 第7回:現代社会の理解(6)地域社会 第8回:現代社会の理解(7)集団・組織 第9回:現代社会の理解(8)現代社会の諸相 第10回:生活の理解(1)家族 第11回:生活の理解(2)生活(ライフ)の諸相 第12回:人と社会の関係(1)行為・相互行為・関係 第13回:人と社会の関係(2)地位と役割 第14回:人と社会の関係(3)社会関係資本 第15回:人と社会の関係(4)社会的ジレンマ 第16回:社会問題の理解(1)逸脱と病理 第17回:社会問題の理解(2)犯罪と非行 第18回:社会問題の理解(3)差別・貧困・失業 第19回:社会問題の理解(4)自殺と社会的排除 第20回:社会問題の理解(5)公害と環境破壊 第21回:社会理論の諸相(1)コントからマルクスまで 第22回:社会理論の諸相(2)テンニースとウェーバー 第23回:社会理論の諸相(3)デュルケムとジンメル 第24回:社会理論の諸相(4)ドイツ社会学の展開 第25回:社会理論の諸相(5)フランス社会学の展開 第26回:社会理論の諸相(6)アメリカ社会学の展開 第27回:社会理論の諸相(7)パーソンズの登場 第28回:社会理論の諸相(8)現代の社会理論 第29回:まとめと補足(1) 第30回:まとめと補足(2)</p> <p>【成績評価の方法】 試験評価:100% レポート:0% 出席:0% 学期末試験(重要用語の空欄埋め問題と自由選択テーマの論述問題)の結果によって評価する。</p> <p>【使用テキスト】 特に使用しない。配布資料によって講義を進める。</p> <p>【参考文献】 各回の講義内容の要点を記載した資料集を配布する。また、その都</p>

度、必要な文献は紹介する。

【準備学習の指示(事前学習 60 時間、事後学習 60 時間)】

当然ながら予習・復習が不可欠である。社会福祉実習室に完備されている社会福祉士試験の過去の問題集(市販のものもあるが、ネットにも掲載されている場合がある)を予習・復習に活用すれば一層効果的である。

【その他備考(担当教員用)】

【備考(管理者用)】

SW 生のみ履修可能